

- 問1 弥生時代に稲作が普及すると、土地や水の利用をめぐる集団間の争いが起こるようになりました。こうした外敵の攻撃から集落を守るために、周囲に深い堀や柵を巡らせた当時の集落の形態を何といいますか。 (2021年 愛知県公立入試 類似)
1. 高地性集落                      2. 竪穴住居                      3. 高床倉庫                      4. 環濠集落
- 
- 問2 稲作の技術が広まったことで、土地や水をめぐる争いが起き、周辺のムラを従えて「クニ」をつくる者が現れた弥生時代の社会において、青銅器はどのような役割を担ったと考えられますか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
1. 呪術的な力を持つと信じられ、女性の姿をかたどった土偶とともに魔除けとして埋められた                      2. 大陸との交易において、日本の特産品として輸出される主要な品目となった                      3. 大規模な水田開発を行う際、土を掘り起こすための主要な農具として普及した                      4. 王や指導者がその権威を示すため、あるいは祭祀を行うための象徴として用いられた
- 
- 問3 弥生時代の遺跡から出土する銅剣や銅鐸（どうたく）などの青銅器について、日本における当時の主な使用目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
1. 集落の祭祀（さいし）や儀式において用いられる祭りの道具として使われた                      2. 戦場において敵を攻撃したり身を守ったりする実戦用の武器として使われた                      3. 木を切り倒したり土を掘り起こしたりするための農具として使われた                      4. 大陸との交易において支払いに用いられる、価値の基準となる貨幣として使われた
- 
- 問4 当時の日本（倭）では多くの小国が分立して争いが続いていたことが中国の歴史書に記されています。このような状況下で、邪馬台国の卑弥呼が魏に使節を送り、皇帝との外交関係を築いた主な目的は何ですか。 (2019年 広島県公立入試 類似)
1. 大陸で広く信仰されていた仏教を日本に導入することで、宗教の力によって国内の戦乱を鎮めるため                      2. 魏の皇帝から倭王としての国際的な承認を得ることで、国内の他勢力に対して優位に立ち、支配を安定させるため                      3. 魏の進んだ鉄器製造技術を独占することで軍勢力を高め、武力によって一気に日本列島を統一するため                      4. 魏が定めていた律令などの法律や官僚制度を取り入れ、天皇を中心とする中央集権国家の仕組みを整えるため
- 
- 問5 古代における農具の改良について、木製農具の先に鉄の刃先を取り付けるようになった目的と、その結果として生じた変化について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
1. 土を深く耕すことを可能にして農業生産力を高めるため、収穫量が増大した                      2. 灌漑用水を確保するために、大規模な土木工事専用の石造りの道具を開発した                      3. 石包丁の使用を継続しつつ、木製農具の強度を補うことで穂首刈りの効率を上げた                      4. すべての農具を鉄のみで製造することで、木材資源の消費を抑え森林を保護した
- 
- 問6 弥生時代に製作された銅鐸や銅鏡などの青銅器について、その主な役割や目的として最も適切な説明はどれか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
1. 大陸との交易において、通貨の代わりとなる経済的な手段として用いられた                      2. 木材を加工したり土を掘り起こしたりするための実用的な工具として用いられた                      3. 集落間の争いにおいて、敵を攻撃するための強力な武器として用いられた                      4. 稲作の豊穰などを願うための祭祀の道具として用いられた
- 
- 問7 弥生時代の稲作の普及に伴って変化した人々の生活や道具について述べたものとして、正しいものはどれか。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
1. 収穫した稲を湿気やネズミから守るために高床倉庫が造られ、穂首を刈り取るための石包丁などが使われた。                      2. 稲作を管理するために、強力な権力を持つ支配者が各地に巨大な前方後円墳を築かせた。                      3. 人々は獲物を求めて移動生活を続け、土器は表面に縄目の文様がある厚手で大まかな作りのものが主流となった。                      4. 金属器はまだ伝わっていないため、すべて木製の農具と黒曜石の打製石器のみで耕作が行われた。
- 
- 問8 弥生時代の人々が、収穫した米を保存する建物の床を地面から高く設計した理由として、当時の工夫を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 風通しを良くして湿気を防ぐとともに、ねずみなどの害獣が侵入するのを防ぐため                      2. 洪水が発生した際に建物全体が水に浮くようにし、米が濡れるのを防ぐため                      3. 敵に米を奪われないよう、床下に深い穴を掘って隠し場所を作るため                      4. 床下を家畜の飼育スペースとして利用し、限られた土地を有効に活用するため
- 
- 問9 大陸から伝わった稲作が日本各地に広まったことは、当時の社会のあり方に大きな変化をもたらしました。収穫物の貯蔵という観点から、稲作の普及が社会に与えた影響として最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. 収穫物を平等に分配する仕組みが完成したため、ムラ同士の争いは完全になくなり平和な社会が実現した。                      2. 収穫したコメを富として蓄えることが可能になったため、蓄えの多寡による貧富の差や身分の違いが生まれた。                      3. 食料を保存する必要がなくなったため、人々は定住をやめて獲物を追いかける移動生活へと戻った。                      4. 収穫した稲を加工するために、鉄器よりも先に漢字が伝来し、役所による管理体制が全国で確立した。
- 
- 問10 邪馬台国の女王卑弥呼に関する記述として、最も適当なものはどれか。 (2016年 北海道公立入試 類似)
1. 夫である天皇の死後、軍を率いて朝鮮半島へ出兵したという伝説がある。                      2. 日本で初めて本格的な都城である藤原京を造営し、国家体制を整えた。                      3. 魏に使いを送り、「親魏倭王」の称号や多数の銅鏡を授かった。                      4. 摂政である聖徳太子とともに、冠位十二階や十七条の憲法を定めた。
- 
- 問11 弥生時代の集落において、収穫した稲を保存するために造られた「高床倉庫」について、床を高く設計した主な目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
1. 洪水による浸水を防ぐために、海岸沿いの低湿地に集落の全ての建物を配置する必要があったため。                      2. 夏の暑さをしのぐために、地面に深い穴を掘って室内の温度を一定に保つため。                      3. 床下の通気性を高めて湿気を防ぐとともに、ネズミなどの害虫が侵入するのを防ぐため。                      4. 敵からの攻撃をいち早く発見するために、建物全体を物見櫓（ものみやぐら）として活用するため。
- 
- 問12 奈良県にある唐古・鍵遺跡のような、周囲を深い濠（ほり）で囲んだ「環濠集落」からは、高床の建物が描かれた土器などが出土しています。このように、集落の周りに濠を巡らせた主な目的と、この時代の近畿地方において主に祭祀（お祭り）の道具として使われていた青銅器の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)
1. 目的：外部からの敵の侵入を防ぐため / 青銅器：土偶                      2. 目的：水害から住居を守るため / 青銅器：銅鐸                      3. 目的：外部からの敵の侵入を防ぐため / 青銅器：銅鐸                      4. 目的：水害から住居を守るため / 青銅器：はにわ